



くまもとアートポリス参加プロジェクト「ふれあいセンターいすみ」の設計の功績により、武田光史氏が1998年日本建築学会賞を受賞。アートポリス参加プロジェクトでの学会賞(作品)の受賞は、「熊本市宮新地団地A」「熊本県草刈産産研究所畜舎」および「県営竜蛇平団地」につき4件目になる。

武田光史氏が  
日本建築学会賞(作品)受賞



「牛深ハイヤ大橋」  
が土木学会  
田中賞受賞

優秀な橋梁を対象とする「土木学会田中賞」を「牛深ハイヤ大橋」が受賞した。選考委員会では、景観創造の価値の大きさや可能性に対する示唆に富み、今後の橋梁技術の発展に貢献するところが大きいと評価された。県内では、'66年に天門橋(天草五橋の1号橋)、'88年に泉村・新樺木つり橋(あやとりの橋)が受賞している。



八代市立博物館

建設省設立50周年記念事業として、同省が選定を進めていた“公共建築100選”に熊本から「八代市立博物館」と「熊本市水道局庁舎」が選ばれた。公共建築100選は、戦後に建設された公共建築を対象に、地域住民に親しまれ、地域社会への貢献度が高いといった優れた公共建築物を顕彰し、公共建築の意義および重要性を広く理解してもらうことが目的。「熊本市水道局庁舎」は村野・森建築設計事務所が設計し、熊本国際建築展「くまもとアートポリス'92」選定既存建造物の一つに選ばれている。

「八代市立博物館」が  
“公共建築100選”に



現場で説明するあしきた青少年の家の設計者・鈴木了二氏

昨年8月29、30日に、建築家も同行するアートポリス見学ツアーを実施し、延べ140人が参加した。今年度のツアーは、八代消防署や県立あしきた青少年の家などを見学する「芦北コース」と、漁業取締事務所、天草工業高校、宇土マリーナハウスなどを見学する「天草コース」の2コース。参加者は鈴木了二氏や室伏次郎氏などの設計者からの説明に熱心に耳を向けていた。

建築家と対話をしながら、建築物を見学  
アートポリス見学ツアー実施



清和文楽館が(社)公共建築協会が主催する「1998年公共建築賞」の特別賞に選ばれた。6回目になる当賞は、公共建築の総合的な水準の向上に寄与することを目的として実施されている。アートポリス参加プロジェクトでは、初の受賞となる。

公共建築として高い評価を獲得  
1998年公共建築賞・特別賞を  
「清和文楽館」が受賞



アートポリスネット  
artpolis.net

アートポリスのホームページがいよいよ開設。アートポリスの最新ニュースや、アートポリス参加プロジェクトの紹介、見学案内など、多彩な情報を提供する。また、一般の人との対話の場として、開催している「roundtable」をネット上でもスタート。ぜひたくさんの方のアクセスを。

(ホームページ・アドレス)http://www.artpolis.net/

最新情報を全国に向けて発信  
くまもと  
アートポリスの  
ホームページ開設

# Kumamoto Artpolis News

21

くまもとアートポリスニュース第21号  
1999年3月発行



特集 コミッショナーに聞く  
高橋 誠一氏・伊東 豊雄氏

県立農業大学校学生寮、進行中  
藤森照信氏・入江雅昭氏・柴田真秀氏・西山英夫氏

- 1998年度くまもとアートポリス 推進賞発表
- コンペティションレポート
- プロジェクトレポート



kumamoto artpolis

K.A.P



Teiichi  
Takashi  
Commissioner

## 2 高橋 一

建築家

1924年 中国・青島生まれ／1949年 東京大学第二工学部建築学科卒業／1949～56年 逓信省営繕部設計課（郵政省建築部設計課）／1956～66年 武蔵工業大学助教授／1960年 第一工務設立・代表取締役／1967～95年 大阪芸術大学教授／1995年大阪芸術大学名誉教授

作品

佐賀県立博物館／大阪芸術大学／実践女子大学校舎・体育館／筑波国際科学技術博覧会迎賓館／東京都立大学キャンパス／全労済情報センター／パークドーム熊本 ほか

受賞

日本建築学会賞（作品）（1971年・1982年）／芸術選奨文部大臣賞（1979年）／日本芸術院賞（1982年） ほか

## ●●●●● 特集／コミッショナーに聞く

スタートして10年という節目の昨年、  
コミッショナーに高橋 一氏、  
バイスコミッショナーに伊東豊雄氏を迎え、半年余りが過ぎた。  
新体制に代わり、今後のアートポリスは  
どのような方向に行くのか、高橋、伊東両氏に話を聞いた。

### 小さなディスカッションを積み重ね、 新しいステップに踏み出す

◆高橋—この半年間、ディスカッションと見学会、2000年のプロジェクトに向けての打ち合わせ、建築家を選ぶという仕事をしてきました。アートポリスは、日本国内のみならず世界の国々から注目されてきた事業ですから、私自身、大変な仕事をお引き受けしたと思います。アートポリス事業に対する共感がなければ、できなかったこと。これまでの評価に対するさまざまな意見を踏まえて、やり残してきた仕事を地道に進めていきたいというのが2人の共通の認識です。

◆伊東—出てきたプロジェクトに対して、高橋先生と2人で、どういう視点に立ってどういう建築家を推薦するか…“視点”を客観的に見極めたいというところからスタートしたと言えますね。

◆高橋—そうですね。建築家を選ぶことは、2人の建築に対する姿勢を示すことです。それを見ていただくことによって新しい方向性を知っていただきたいし、知っていただくためにシンポジウムなどを続けていくつもりです。それもインフォーマルにやりたい。堅苦しいものからは何も生まれないですからね。斬新さや問題提起ではなく、歴史的風土や、使われる仕組みを施設利用者や管理者と共に考えるという地道な建築のアプローチに新しい角度から取り組もうとしていらっしゃる方が日本にも何人もおられるので、そういう方の一人を選ぼうと考えています。建築は誰にでもできるものなんですよ。工学的には多少複雑ですが、それをクリアする方法はあるわけだから特殊な社会じゃない。そう思われていない点が、建築の置かれた一つの悲劇的な側面だと思います。

◆伊東—自分が社会の中で、何をおもしろいと思ひ、何をつまらないと感じているかというリアリティーをどうやって建築に置き換えることができるか—そこから建築を考えない限り、新鮮な建築は生まれませんよ、と僕はいつも学生たちに言っています。それと同じようなことが、この10年間のアートポリスでも拡大されてあるような気がします。建築家は、自分は社会を変えたい、社会のこういうことにフラストレーションを感じているというわけですが、それがいつの間にか建築家だけの世界の中で語られるようになって、それがその建築を使う人にうまく伝わっていない。それをどうしたら別の言葉で語れるか—別の言葉で語れるということは建築のあり方も変わってくるかもしれない。これこそアートポリスで一番期待すべきことではないかと考えます。建築家を選ぶという仕事だけではなく、その前提になるようなことをアートポリスの事業の中で広げていきたいと、高橋先生と話し合っています。前提になるようなことの一つとしては、アートポリスに関わってきた人と、小さなディスカッションを通じて何を感じておられるのかということをし少し立ち入りながらうかが

# 濃密な「対話」を 繰り返すことで、 新しい「建築」が生まれる。

いたい。もう一つは、発注されてそこからスタートするんじゃないで、コミュニケーションを積極的にとれるようなプロジェクトを起こしていくこと。そういうことを、2000年のイベントを通じてできないかと模索しているところです。

### 「建築」の意味を、 一般社会にもっと浸透させたい

◆高橋—どんな建築家もパーフェクトな建物をつくることは難しい。できるだけそういう点を解決するために工学的にきちっとさせ、環境的にも考えていかなくてはならない。それが僕たちの仕事としてあるわけです。一方では、普通の人が普通に考えていけるロジックを取り入れながら、普通のものを普通でないようにするのが建築です。普通のものでありながら普通でない感覚が建築をつくる大前提だと思います。農業大学の学生寮の設計者を伊東さんと2人で選んだのですが、2人も同じ人を考えていたんです。藤森照信さんという近代建築の歴史を専門としている人、そういう人だからこそ新しい提案が出てくるんじゃないかと期待しているんです。

◆伊東—地方で建築をつくらうとすると、近代建築といわれてきたものの延長か、どこかで民家に通じる伝統的な建築か、その2つの対立だけが浮き上がってしまう。そのどちらかということで議論が終始してしまうのは、つまらないと思うんです。その間にどんな可能性があるのだろうか。その可能性こそ、アートポリスに期待することの一つです。藤森さんの建築は、素人の建築なんですね。彼は歴史家の中でも異色の人で、いろんなものを見て歩く建築探偵団。見て歩いておもしろいと思うものを、どういう言葉で表現するかということも興味深いし、また建築家と社会のコミュニケーションを円滑にしていく意味においては、タイムリーな人だと思います。社会と建築の間を取り持つ答えが出てくるかもしれないという期待があります。

◆高橋—おおげさな言い方をすれば、ある意味で彼の作品は、第2次アートポリスの前途を占うのかもしれない。そういう方向づけ、あるいはそれに近いものがでてくることを期待しています。彼は大学の寮に一晩泊まり込んで、学生さんや先生方から話を聞き、その人たちにとって何が大切なのか、語りの中で見いだそうとしている。今の建築は、なかなかそういうことをしなかったり、チャンスがなかったりで、使う人たちとのコミュニケーションができていないことが多い。それが、日本では現代建築の重大な問題になっています。また逆に、日本では建築が一般教養として認知されていない。ヨーロッパでは、一般の人たちが建築についてよく知っていて、建築の思想性といったものに対する共鳴や批判があるわけです。日本の教育では、建築は工学と芸術の狭間にあって、社会的な存在として教えられてき



Toyo  
Ito  
vice-commissioner

## 3 伊東 豊雄

建築家

1941年 京城生まれ／1965年 東京大学工学部建築学科卒業／1965～69年 菊竹清訓建築設計事務所／1971年 URBOT設立／1979年 伊東豊雄建築設計事務所名称変更

作品

笠間の家／シルバーハット／八代市立博物館／八代市立保寿寮／八代広域行政事務組合消防本部庁舎／大館樹海ドームパーク ほか

受賞

日本建築学会賞（作品）（1985年）／第3回村野藤吾賞（1990年）／第33回毎日芸術賞（1992年）／1997年度芸術選奨文部大臣賞（1997） ほか



●●●●●  
特集  
コミッショナーに聞く

ていない。我々としては、日本の社会の中で建築というものの意味を浸透させたい。もう一つには、変わったものだけにスポットを当て続けてきた建築ジャーナリズムの問題があります。変わってほしいかというそうではない。

「建築」が、  
住む人の根本を変え、引き出していく

◆伊東—今の公共建築にはかなりフラストレーションを感じています。時代と合わなくなったものをつくり続けているという気がするんです。よく“ハコモノ行政”と批判されますが、“ハコモノ”という言葉には、閉じた建築という意味合いが象徴的に込められているような気がします。今のようなネットワークで世界と結ばれている時代に、相変わらず“ハコモノ”をつくり続けるのは時代遅れだと思います。いろんな角度から変えていかなくちゃいけない。理想的な例としては、清和文楽館。建築と文楽をきっかけに、過疎の村に年間14万人もの観光客が訪れるようになった。建築と企画が非常にうまくかみ合って、町自体が潤ってきた。こういうことをもっと積極的に考えたほうがいいと思います。公共建築とは与えるものではなくて、それをつくることによって村自体も得るものがあるということ。これは非常におもしろいテーマです。だから少し別の観点からテーマを立てることが大切。それも対話からですね。企画が全部決まってから仕事に入る場合が多いのですが、もう一歩前の段階から入り込めるとそれが可能ですね。

◆高橋—公共建築をつくるシステムに大きな問題があるのかもしれない。一般に、建築家が直接ユーザーにアプローチしようとしても、公共建築というバリアはなかなか越えられない。そこで、建築家も発注者も一緒になって使う人の声を聞く、問題を提起する。その中で新しい発想が生まれ、新しい建築のシステムができてくる。それが一番大事なことだと思うんです。それが対話です。ある一つの言葉にしても、人はそれぞれ違う定義を持っている。それが濃密な対話を繰り返すうちにお互いに理解できるようになる。コミュニケーションというのは、辛抱やエネルギーのいる仕事です。市民と建築家の障壁も、発注者とユーザーの障壁もあるし、それを解消するには時間がかかります。一つの言葉についての、定義、解釈、判断というのは、個人個人のバックグラウンドによって違います。そうした中で、皆が話し合いをしながらつくられていくものを認める寛容さ。一方で新しいものをつくつ

ていこうという意欲。そういうものを持つことになりますね。建築そのものが、そこに住まう人の根本的なものを変えていく、引き出していこうと言えますね。

結論を急がず、おおらかに寛容に

◆高橋—もともと熊本の人たちは、「肥後もっこす」に象徴されるように、明確な信念を持っている。どちらかと言えば、コンサバティブ。今までの価値観をフレキシブルに寛容に変えていこうという意志はない。しかし、そんな難しい場所に、いろいろな話題を提供するたくさんのものが現れたというのは、非常に意義のある事件です。

◆伊東—いや、僕は寛容だと思っています。僕の印象としては、熊本は、ヒューマンなコミュニケーションが成立するところ。腹を割って話せば聞いてやるといったスケール感とか度量があって、建築をつくっていく上ではそういうパーソナルな信頼関係が必要だと思うんです。アートポリスという事業が10年以上続いているというのは、非常に特異なこと。建築家にとってはもちろん、一般の人々にとっても建築を理解する上で、ラッキーで特異な状況だと思うんです。アートポリスという事業があるということ自体がとても意義のあることなので、これをもっとも実体のある場にできないか。そういうものに育ってほしいというのが建築家の切実な願いです。

◆高橋—一般的な場をつくるというのは大変なこと。熊本だからうまくいくと楽観視しているわけではありません。努力が必要だと思います。エネルギーと時間をかけた話し合いは必要でしょう。

◆伊東—だからこそ、小さなコミュニケーションの場を増やしていきたい。そして、アートポリスを身近なものに感じてほしい。外部からの声を入れるために、この春からインターネットも立ち上げます。従来の座談会よりもっとざっばらんに声を寄せ合って、それに自治体や建築家が動かされる。そういうコミュニケーションが、重要な役割を持つてくるような気がします。建築をもっと身近にする、具体的な方法をいろいろと考えていかなければいけないですね。

◆高橋—短期的な結果を性急に期待しないでほしい。どう変わっていくのか見極めるには時間が必要です。理解し合って寛容にやっていきたいです。100年200年という時間を共有していた建築もあるわけです。ロングスパンの視野を持って大らかに、と思います。

(2月22日 東京・第一工房にて)

今後のさらなる発展を目指して

’98年5月19日、新旧のコミッショナーが知事と会談



福島知事と握手を交わす高橋氏と伊東氏

コミッショナーの高橋誠一氏とバイスコミッショナーの伊東豊雄氏が福島知事と会談した。また、10年間コミッショナーを務めた磯崎新氏も同席した。高橋コミッショナーは、「施設の利用者と建築家などのコミュニケーションを積み重ねる必要がある。小さな話し合いを継続的に続け、アートポリスが県民により定着するように努めたい」と抱負を述べた。



10年間コミッショナーを務めた磯崎氏

「くまもとアートポリス」の未来を見つめて

’98年6月24日、「くまもとアートポリスフォーラム」開催



今後の方向性を示唆する発言も多く飛び出した

熊本テルサで「くまもとアートポリスフォーラム」が行われた。これは、コミッショナーが交代したのを機に、今後のアートポリスの展開を考えていこうというもの。コミッショナーの高橋誠一氏は、建築家の個性や感性に県民との対話を重ねていくことの必要性を語り、バイスコミッショナーの伊東豊雄氏は、アートポリスは間違いない世界に誇れる運動であり、熊本は県全体がすばらしい現代建築の博物館であると講演。その後、熊本大学講師の桂英昭氏をコーディネーターに、高橋氏、伊東氏のほか、アートポリスアドバイザーの堀内清治氏と、泉村の「ふれあいセンターいすみ」の設計者である武田光史氏の4氏で「新しいアートポリスに求められるもの」をテーマにディスカッションが行われた。「景観設計も含めて、耐久性の高い、これが熊本の建築だ、といえるものをつくっていくことが必要」と新たなアートポリスの未来像が語られた。

アートポリスの展開をみんなで語り合う

’98年10月2日、12月22日、意見交換会「round table」を実施

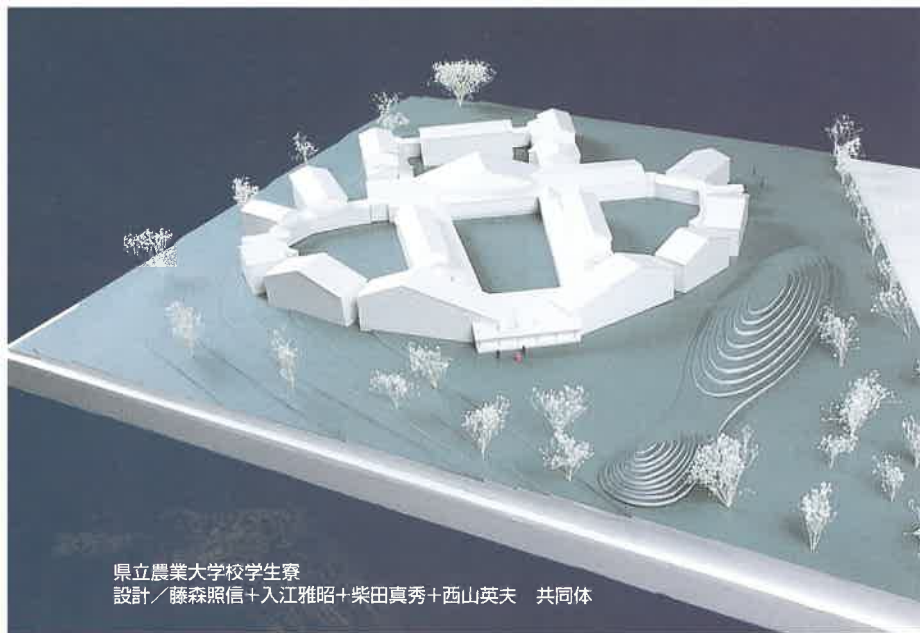


これまでのプロジェクトも再検討

新コミッショナー体制発足後、さまざまなテーマを設け、アートポリスについて意見を交換する場「round table」が実施された。第1回は10月2日に、これまでアートポリスに参加した市町村の担当者と両コミッショナーが、プロジェクトの企画や建設、管理の問題点、地元での印象などを話し合った。第2回は、12月22日に開催。地元の学生や設計・施工に携わる人が参加し今後のアートポリスについての意見を交わした。



学生の参加も目立った2回目の意見交換会



県立農業大学校学生寮  
設計／藤森照信＋入江雅昭＋柴田真秀＋西山英夫 共同体



### 藤森 照信

FUJIMORI TERUNOBU

- 1946年 長野県生まれ
- 1971年 東北大学工学部建築学科卒業
- 1978年 東京大学大学院工学系研究科建築学専門課程修了
- 1996年 東京大学教授

作品◆神長官守矢資料館、たんぼほハウス、ニラハウス、秋野不矩美術館、一本松ハウス ほか  
 受賞◆1998年 日本建築学会賞「建築論文/日本の都市・建築史の研究」ほか  
 著書◆建築探偵の冒険 ほか



### 入江 雅昭

IRIE YOSHIAKI

- 1957年 熊本県生まれ
- 1980年 熊本大学工学部環境建設工学科卒業
- 1980年～91年 大栄設計
- 1991年 IGA建築計画開設

作品◆古閑邸、坂口邸、加賀山邸、富田邸、福永邸 ほか



### 柴田 真秀

SHIBATA MASAHIDE

- 1958年 熊本県生まれ
- 1982年 法政大学工学部建築学科卒業
- 1982年～84年 高山建築学校
- 1984年～87年 宮坂建築事務所
- 1987年～92年 アーバンランドスケープ
- 1992年 UL設計室開設

作品◆百道の住宅、三角クリニック、青海苑ダイケアセンター ほか



### 西山 英夫

NISHIYAMA HIDEO

- 1959年 熊本県生まれ
- 1982年 熊本工業大学建築学科卒業
- 1983年～90年 神戸大学工学部環境計画学科研修生修了
- 1983年～90年 Team Zoo いるか設計集団
- 1991年 西山英夫建築環境研究所開設

作品◆COUNTRY SCAPE、TOWN SCAPE、水上村山の幸館 ほか

## ▶▶▶ 新コミッショナー誕生後、初のプロジェクト・県立農業大学校学生寮、進行中!



「学生たちが、農業をやるために誇りをもってくれるような建物に」

藤森 照信

### 「共同性」と「プライバシー」の2点が大きなテーマ

今回のこのプロジェクトの特徴は、スケールが大きい木造建築ということ。そして学生のための寮ということです。木造建築の良さは、そこに暮らす人々を癒すことができる、風化していく時に美しい、ということがあります。私も寮生活は経験したことがあるのですが、学生時代の寮生活は、純粋な意味で、個人がフラットに付き合える最後の共同生活になります。そこで「共同性をどう考えるか」が一つのテーマでした。それから「プライバシー」の問題。共同性に関しては、昔のお寺や修道院などでよく用いられた中庭式を取り込みました。これまでの寮は、廊下の両脇に部屋が向かい合って並び、ドア1枚だけで隔てられ、管理された場所という感じでしたが、管理されているという感じをなくすため、廊下から部屋に入るときに、小さな空間をとっています。また、2階もそれぞれ階段を上って入っていくので、廊下からすぐ部屋という感じではありません。各部屋も、均質に一直線にならないよう円環になっています。

### 不ぞろいな自然を、そのまま建築物に取り込みたい

これまでに設計してきた建築物もそうなのですが、私は自然素材にこだわるのではなく、自然素材を、自然な状態に近い形で取り込むということにこだわっています。自然とは、本来、不ぞろいなもの。しっくいなどもまっ平らにしてしまえば味がない。ばらつきこそが自然の持つ味だと思うのです。今回も、全部というわけにはいきませんが、敷地内の木を使って、柱用の木には太鼓落しと呼ばれる手法(木の2面だけを平らにし、残りの2面は木の風合いをそのまま残すというやり方)を取り入れたりしています。

私は建築史家として、世界中のいろいろな建築物を見てきましたが、そのせいか、自分が設計したものも冷静に客観的に見えています。現代の建築界は、白く透明な世界を目指し、より

抽象度が加速していると思うのですが、建築家としての自分は、どうしても土や木や石を目の前にすると惹かれてしまう。信州の野山を駆けていた少年時代の血が騒ぐのです。

今回、私にこの仕事が回ってきたのは、私が農村で育っていて、農業のことが少し分かっていて、農作業もある程度はできるからかなという気がします。農業へ共感を持っているということで、農業大学校の学生寮というプロジェクトに向いていたのかもしれない。

### 建築物は、利用する人に影響を与える

私は、建築は、ファッションがその人の個性や性格に影響を与えるように、そこで暮らす人に影響を与えようと思っています。だから、今回は、サラリーマンの服じゃなく、工業労働者の服でもない、農業をやる人のための服で、しかも、21世紀に向けてより大切になってくる農業の積極性を表す服ができればいいなと思っています。農業大学校は全寮制。ここで貴重な2年間を過ごす学生さんたちが、農業を学ぶことに自信をもってもらう一助になれば、と願っています。学生さんには、ぜひ農業をやることに誇りをもって暮らしてほしいですね。



4人の力が重なった時、思いもよらない魅力的なものが誕生する

### 建築には、客観性も多く必要とされる

◆入江—今回、農業大学校の学生寮を担当することになって、違う方法論と価値観をもった人たちと仕事をするというのは非常に興味深いと思いました。延床面積が木造で5000㎡以上もあり建築物のスケールがとにかく大きい。

◆西山—多かれ少なかれ、設計者はそれぞれに自分のイメージを頭の中に描いていると思うけれど、それは、いいことであり、悪いこともある。建築の担う社会的な側面を考えると、自己表現だけの世界に入ってしまうとまずい。違う価値観で、まったく同じものを見たときどう判断するかということは重要なことだと思います。

◆柴田—建築は主観的なもののように思われがちだけど、本当は客観的につめなければならぬことが山のようにあるんです。その点に気づくか、気づかないかは大きな別れ道。だから2つの目より、たくさんの目が集まったほうがいろいろ見えてくる。それにしても、とにかく、藤森さんの膨大な情報量には驚かされます。世界中の建築物を見ているので、まずその新しさを判断して、さらに、今までにないものをつくっていく。しかも、合理性や施工性はきちんとふまえた上で。そういう点は特に面白いと思います。

◆入江—藤森さんは、モノづくりの楽しさの原点を知っておられ、それを実践されている気がしますね。設計だけでなく、自ら道具を持ち、仕上げの程度を示したり、自分で作り上げられたり、現場の顔負けのことをされます。

◆西山—4人の個性が重なり合って、最終的には思いもよらないいいものができあがるような期待感がありますね。

### 人間や環境に対する提案が建築物から見えてくる

◆柴田—私たちは、熊本で建築の仕事をしていますが、アートポリスがあるから、建築の仕事をする人、勉強する人の

環境はいいと思います。車で行ける距離にこれだけたくさんさんの建築物があって、建築家が人間や環境に対して何を提案しようとしているか、建物から見えてくると思うんです。

◆入江—私は熊本以外で仕事をしたことがないので、ほかの地域の建築業界がどうなのか分かりませんし、特別に違いを意識することはありません。ただ、熊本にアートポリスがあるというのは、大きな違いだと思います。

◆西山—地域的な差異よりも、今我々が生きている時代や社会の中で、建築家たちはどういうことを解決したり、提案したりしようとしているのか、現代の抱えている問題は中央も地方も共通認識としてあるんじゃないでしょうか。

◆柴田—以前東京で仕事をしていたのですが、都市のかかえる問題については、熊本はまださほど生活に影響が少ないから、強く認識されないかもしれない。そういう意識の違いは、中央と地方ではあるかもしれませんね。

### 「幸せだなあ」と感じてもらえる建物づくりを

◆柴田—このプロジェクトを経験したことで、急に何かが変わると思わないけれど、今後も自分の中の形のないイメージが、きちんと具体的になるまで、あきらめずに掘り下げて仕事をしていきたいですね。

◆西山—建築家としてできること、ものをつくること、ものを通して、他者に何を与えることができるのか考えていきたいですね。自分自身も利用者にも、ただ生活の道具としてだけでなく、精神的な生活の喜び、「幸福感」をもってもらえるような建築をつくっていききたいと思います。

◆入江—私はある面では建築以上に現代のいろいろな社会問題に興味があります。例えば住宅の場合、家族の関係など。人と人との関係をつくりあげるために、それをフォローできるような住宅や建物をつくっていききたいと思っています。

県下各地の優秀な建造物が受賞

# 1998年度「くまもとアートポリス推進賞」

建築文化に対する県民の理解を深めるため、毎年、優れた建造物などを表彰している「くまもとアートポリス推進賞」。建物のデザインや建物の維持管理、地域への貢献など、さまざまな観点から審査が行われた。4回目の今回の応募総数は25件。そのうち、7件が推進賞選賞に選ばれ、2月25日、表彰式が行われた。

## 熊本県信用保証協会 八代支所

事業主 熊本県信用保証協会  
設計者 (有)風設計室  
施工者 松本建設(株)  
所在地 八代市若草町



幹線道路から一歩入りこんだ落ち着いた環境にあり、周辺との調和がとれた配置設計。凹凸の多い変化にとんだ外観と、パブリックアートのオープンギャラリーは、通行する人々に軽やかな眼の楽しみを与えている。

## 古閑邸

事業主 古閑和季  
設計者 IGA建築計画  
施工者 (有)鎌田建設  
所在地 熊本市長嶺



明治初期に建てられた住宅は、100年以上経って建て替えの計画があがった。しかし、先祖代々受け継がれその土地の風景となった住宅を再生することになった。建物を大事に使い続ける事業主、設計者、施工者の思いが込められている。

## HOUSE:H-M

事業主 橋爪博  
設計者 設計組織・RAM  
施工者 (有)橋爪建設  
所在地 球磨郡深田村東



人吉・球磨盆地の高台に位置する若い家族のための住宅。一見閉鎖的に見えるが、南北両側に開放されており、また、階段上部からも日光が降り注ぎ、明るい空間を創り出している。

## 聖母の丘

事業主 社会福祉法人 聖母会  
設計者 (株)環境開発研究所  
施工者 (株)竹中工務店  
所在地 熊本市島崎



箱型建物の堅い印象を、正面玄関の葺きおろし屋根が和らげ、緑豊かな環境に調和した佇まいを見せる。落ち着いた外観、機能的に配された平面計画は、そこに住む人々に安らぎを与えている。

## 老人保健施設 かがみ苑

事業主 医療法人社団 司会  
設計者 (有)野中建築事務所  
施工者 松尾建設(株)熊本支店  
所在地 八代郡鏡町大字塩浜



老人の家庭での生活自立を支援する中間施設で、病院やホテルの延長線上にある類似施設とは違った温かさを感じさせる。ホールの上の膜屋根から心地よい自然光が降り注ぎ、質感と温もりのある素材により構成されている。

## 水俣市保健センター・水俣市総合もやい直しセンター

事業主 水俣市 (財)水俣市振興公社  
設計者 (株)高木富士川計画事務所  
施工者 沢井和久田・高木建設工事共同企業体  
太田・不二・清上電気建設工事共同企業体  
三橋・共栄・谷口建設工事共同企業体  
(株)クキタ  
所在地 水俣市牧ノ内



水俣川に沿って建てられた、通称「もやい館」は市民の健康増進と、交流の場を目的としている。外観、内装とも木・竹・土など自然素材を多用。市民参加によるワークショップを重ねた施設づくりは、企画段階から市民のもやい直しが進んでいる。

## 宮原町下宮 はまどん公園

事業主 宮原町  
管理者 宮原町下宮地区  
設計者 (株)計画技術研究所九州事務所  
(株)龍環境計画  
施工者 (有)有佐樹花園  
橋本住建  
所在地 八代郡宮原町大字宮原村



わずか1000m<sup>2</sup>の公園は、地区公園として、企画から設計に至るまで、町と設計者だけでなく、地区の住民も参加し、その維持管理まで話し合われた。完成後も、住民の手により、親しみのある公園になっていく。

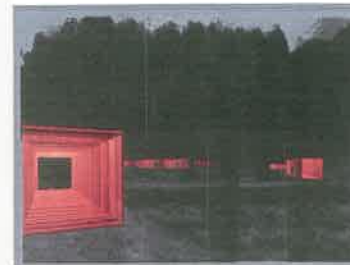
多数の応募、多彩な案が大集合

# Competition Report

くまもとアートポリスでは、これまでもコンペティションでいくつかのプロジェクトが行われてきたが、平成10年度にも2つのコンペが行われた。

## 鹿北町アート・プロジェクト・コンペティション

### 最優秀賞は山田良氏、小野田綾子氏<鹿島建設(株)>に!!



山田良  
小野田綾子案

鹿本郡鹿北町の国道3号沿い、道の駅鹿北「小栗郷」の後背地に町が整備する公園の一部を対象とした設計競技が行われた。国内外からの応募総数は268点。昨年の5月22日に、建築家の岡部憲明氏を審査員に迎え、多くの観客を前に行われた公開審査では、最優秀賞の山田良氏・小野田綾子氏<鹿島建設(株)>案を含む10点を選出された。敷地全体に対する的確なインパクトを持ち、一つの造形的言語としてのユニットを、棚田という地形の文法上に相互に呼応しながら空間全体を組み立てたユニークな手法と表現力の高さが評価された。プロジェクトは、今後、公園全体の計画とのバランスを考えながら、設計、工事と進んでいく。

#### 設計競技入賞者

最優秀賞 ●山田 良、小野田綾子 <鹿島建設(株)>

優秀賞 ●安養寺芳彦、竹末就一、山下修司 <(株)東京ランドスケープ研究所九州事務所>  
●遠藤吉生 <遠藤建築スタジオ>  
●奥村誠一、土井久頭、村中裕貴 <近畿大学大学院工業技術研究所>

佳作 ●高森和志 <鹿島出版会SD編集部>  
●根津武彦 <(株)北川原温建築都市研究所>  
●岡村典明、堀井雅嗣 <(株)鴻池組大坂本店設計部>  
●清水泰博、村元純子 <SESTA DESIGN>  
●山口 賢、藤川 伸 <アイキューアーキテクト>

選外佳作 ●江頭 慎 <AA School>  
●北川フラム <アートフロントギャラリー>  
●吉田俊宏、濱 雅人 <三菱化学エンジニアリング(株)>  
●長谷川浩己、鈴木裕治、鈴木千穂 <オンサイト計画設計事務所>  
●藤野雅統、石井 大、上原珠枝 <(株)ファブリカ・アルティスー級建築士事務所>

町長賞 ●茶原誠一、吉田重徳、黒木光志 <セイフ建築設計(有)>

## 富岡園地公衆トイレエスキスコンペティション

松本健志案(模型)

### 熊本大学の4年生、松本健志氏の案が最優秀賞受賞!

#### 設計競技入賞者

最優秀賞 ●松本健志 <熊本大学工学部建築学科>

優秀賞 ●小路永守 <熊本県土木部建築課>  
●丹伊田稔、高橋智明、池上 正、丹伊田恒(熊本工業大学) <(有)ロゴス設計同人>  
●村嶋裕介 <熊本大学工学部建築学科>

佳作 ●倉田耕次 <(有)倉田設計>  
●弓場功太 <熊本大学工学部環境システム工学科>  
●小村健治 <ぼん設計小村事務所>  
●野口史剛 <熊本大学大学院>  
●平井謙次 <森繁建築研究所>  
●合志 宏 <熊本大学工学部建築学科>



天草郡苓北町の富岡半島に建設される公衆トイレのエスキスコンペが昨年の7月に行われた。このコンペで最優秀賞に選ばれたのは、熊本大学工学部建築学科4年生の松本健志氏の案。審査は、高橋コミッショナーと伊東バイスコミッショナーとで行われ、その形が土地の自然に溶け込み、樹木の水平ラインに対比して美しい点や、プライバシーは確保されながらも開放的でオープンな空間が作りあげられている点などが評価された。A・I・Rと共同体を組み、昨年末に設計完了。今年4月の完成を目指し工事が進められている。



## 県立あしきた 青少年の家

事業主	熊本県
設計者	エリア・ゼンゲリス+ エレニ・シガンテス+ 鈴木了二+島村建築設計事務所
施工者	和久田建設、田中組、沢井建設 木村建設、大同組、前島建設 松下組、速永工務店
電気	白鷺電気工業、人吉電気工業 新星電気、日立製作所、太陽電気 立尾防災、ユーテックスシラサギ
機械	広誠設備工業、誠工社、旭電業 西日本システム建設、荒木商店 旭設備工業、E.S.P
外構	佐藤産業
所在地	芦北郡芦北町大字鶴木山内
主要用途	研修宿泊施設
建築面積	6,496m <sup>2</sup>
延べ面積	8,831m <sup>2</sup>
施工期間	1997年3月-1998年6月

## 恵まれた自然の条件を最大限に活かす

青少年の育成を目的とし、八代海の眺望と既存の地形を考慮に入れて計画されている。宿泊棟、食堂・浴室等の各建物は渡り廊下でつなぎ、自然要素に溶け込むような優しい曲線のデザインを施している。管理・研修棟、体育館は海への傾斜を建物に反映させ、視線を海に向かわせている。



## 雄大な阿蘇に、 囲まれた空間

公衆トイレという施設の性格から、控えめであること、斜面に建つこと、自然公園内であることなど、阿蘇の自然と向き合うという様々な条件を関係づけ、斜面をめぐり上げたような緑の屋根、ガラスと檜のルーバーの壁面で構成された。斜面の領域と駐車場の領域の重なりが、草千里の風景に溶け込む空間になっている。



## 草千里 公衆トイレ

事業主	熊本県
設計者	塚本由晴+齋藤百樹建築設計事務所
施工者	建築 蔵原建設 電気 帯屋電機商会 機械 長伸設備、熊本利水工業、大旭興業
所在地	阿蘇郡阿蘇町
主要用途	公衆便所
建築面積	106.33m <sup>2</sup>
延べ面積	106.33m <sup>2</sup>
階数	1階
構造	鉄筋コンクリート
施工期間	1997年12月-1998年4月

## 宇土 マリナーハウス

事業主	宇土市
設計者	吉松秀樹
施工者	建築 西松建設九州支店、上野工業所 電気 昭電社、上田電気工業 機械 ミナミ冷蔵、鶴城総建
所在地	宇土市下網田町字御興来3084-1
主要用途	マリナーハウス、修理庫、艇庫
建築面積	1,619.92m <sup>2</sup>
延べ面積	1,980.36m <sup>2</sup>
階数	2階(マリナーハウス、修理庫) 1階(艇庫)
構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造(マリナーハウス) 鉄骨造(修理庫、艇庫)
施工期間	1997年6月-1998年8月



## 「家」であり「街」であるマリナーハウス



都市デザインの視点から、エリア全体をマリナーパークとして捉えた宇土マリナー。その中心のマリナーハウスは、人々が集う街並みをイメージしている。最小限の基本モデルがあり、それを引き離すことで残余空間をつくりだす。また内部と外部を反転して扱うことで、内外部を意識させず、さらに繰り返しのテクスチャーを与え、パーク全体の連続性を高めている。



## 天草工業高校 実習棟・体育館

事業主	熊本県
設計者	室伏次郎+SDA建築設計事務所
施工者	吉永産業、中村建設、大昌建設、有江建設
電気機械	鍛田電設、天草設備、熊電施設、三和電工設備、天草設備
エレベータ	山下総合設備、第一設備工業、三精輸送機
所在地	本渡市亀場町
主要用途	学校
建築面積	6,090m <sup>2</sup> (実習棟、体育館部分)
延べ面積	12,115m <sup>2</sup> (同上)
階数	5階
構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造
施工期間	1995年3月-1999年2月

大型客船のキャビンのような、海側のファサード



本渡市ループ橋「天草瀬戸大橋」の足元の海際にあり、周囲との調和を考慮し、詩情あふれるプロムナードを設計。海側のファサードは、旧校舎とも一体化し、大型客船のキャビンのように見える。実習棟及び体育館は、大きなガラスの窓を持ち、恵まれた自然や景観との一体感を図った室内環境をつくっている。また風の通りにも気を配っている。

## 不知火文化プラザ



事業主	不知火町
設計者	北川原温+伊藤建築事務所
施工者	西松建設九州支店
所在地	宇土郡不知火町高良
主要用途	図書館、美術館
建築面積	2,133m <sup>2</sup>
延べ面積	1,793m <sup>2</sup>
階数	1階
構造	鉄骨造
施工期間	1998年2月-1999年4月(予定)

外観のモチーフは  
不知火現象



既存の行政施設の間を安全に敷地へ誘導する並木道と、鉄道の騒音を和らげる敷地東端の「緑の柱」を設け、行政センター地区全体に新たな秩序を与えている。建て屋と並木道の間には、木製デッキとベンチを配置した広場。内部はアトリエを備えた美術館と図書館からなり、様々な利用の可能性を持つフレキシブルな空間を並置している。不知火現象をモチーフとした外観のルーバースクリーンは、内外の空間を柔らかくつなぐ。

## 自然との、バランスの美しさ

### 鮎の瀬大橋

事業主	熊本県
設計者	大野美代子+中央技術コンサルタンツ
施工者	住友建設+佐藤企業JV
所在地	上益城郡矢部町
主要用途	橋梁
規模	橋長390m 幅員8m タワー高さ138m
構造	PC斜張橋+ラーメン橋
施工期間	1993年5月-1999年7月(予定)

緑川の上流、幅300m、深さ140mのV字谷にかかる。この谷は片側が開け、もう片側は山が迫り、斜面中ほどに岩棚がある複雑な地形。そのために、Y型橋脚と斜張橋の複合という異なる構造を組み合わせた。オレンジ色のケーブル、主塔橋脚の縦縞模様をはじめ、斬新なデザインは、技術的にも高いレベルの構造物になっている。



## 水前寺江津湖公園管理棟

阿蘇山からの伏流水が湧き出る江津湖の公園管理事務所。屋根は土地を四角に切り取ったように見え、その下に空間をつくったようなイメージ。公園の環境に配慮し、ランドスケープと施設との連続性を確保するため、自然素材の利用、屋上緑化などを採用し、曲線的なシルエットをもたせた。また、洪水時の冠水を考慮し、床レベルを高く設定している。

ランドスケープとの連続性に配慮



**Profile**  
**牛田英作** (うしだ えいさく)  
 1954年東京都生まれ/1976年東京大学工学部建築学科卒業/1976~83年磯崎新アトリエ/1984~86年リチャードロジャースパートナーシップ/1986年牛田フィンドレイ建築デザイン事務所設立/1988年ウシダ・フィンドレイ・パートナーシップに改組  
**キャサリン・フィンドレイ** (Kathryn E. Findlay)  
 1953年スコットランド生まれ/1979年AAスクール卒業/1980~82年東京大学工学部建築学科修士課程、文部省給費留学生、磯崎新アトリエ勤務/1986年牛田フィンドレイ建築デザイン事務所設立/1988年ウシダ・フィンドレイ・パートナーシップに改組  
**●主な作品**  
 ECHO CHAMBER, TRUSSWALL HOUSE, SOFT&HAIRY HOUSE、保養所・山居、ピリヤードハウス ほか

事業主	熊本県
設計者	牛田英作+キャサリン・フィンドレイ
施工者	竹内工務店
建築	太平興産
電気	旭設備工業
機械	
所在地	熊本市広木町
主要用途	事務所
建築面積	299m <sup>2</sup>
延べ面積	266m <sup>2</sup>
階数	1階
構造	木造
施工期間	1999年2月-1999年8月(予定)

# Kumamoto Artpolis Project Guide

## くまもとアートポリス・プロジェクトガイド

くまもとアートポリスのこれまでに竣工・完了したプロジェクト、そして現在進行中のプロジェクトを一覧に集めました。竣工プロジェクトには、これら作品を見に行かれる方のために住所などのデータを掲載しました。

※見学の際は、建物所有者、居住者、および周辺の居住者に迷惑のならないよう十分注意してください。特に大人数での見学の際は事前に連絡を必要とする施設がありますので「アートポリス事務局」までご連絡ください。

凡例/番号プロジェクト名  
設計者...主な用途...竣工年月  
住所...行き方...開館時間、休日、入場料など...連絡先



**1 熊本北警察署**  
福原一男+太田設計事務所...警察署...90年11月  
熊本市草葉町5-13...熊本交通センターからバス「白川公園前」下車...内部見学、写真撮影は要許可、バス駐車不可...熊本北警察署総務課096-323-0110



**2 県営保田窪第一団地**  
山本理顕...共同住宅...91年8月  
熊本市保田窪1-28...熊本交通センターからバス「上保田窪」下車...外観のみ見学可、駐車不可、中庭は入れません



**3 加久藤トンネル換気所**  
小山明+パンフィックコンサルタント...機械室...89年10月  
人吉市大畑町、宮崎県えびの市東川北...国道221号加久藤トンネル脇...外観のみ見学可



**4 三角港フェリーターミナル**  
葉祥栄...待合所...90年2月  
宇土郡三角町大字三角港...JR三角駅前...0964-53-1255



**5 八代市立博物館、未来の森ミュージアム**  
伊東豊雄...博物館...91年3月  
八代市西松江町12-35...JR八代駅前からバス「法務局・博物館前」下車...9:00~17:00...月休...入場300円(常設展)...0965-34-5555



**6 熊本市花畑パークトイレ**  
大塚豊一...公衆トイレ...89年10月  
熊本市花畑町6...熊本交通センター前、花畑公園内...近隣に有料駐車場あり



**7 熊本市上上津浦町トイレ**  
日田光...公衆トイレ...89年5月  
熊本市神水本町1-6...JR熊本駅から市電「八丁馬場」下車



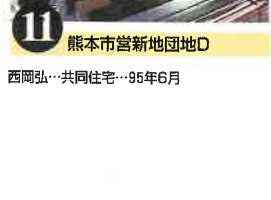
**8 熊本市営新地団地A**  
早川邦彦...共同住宅...91年5月  
熊本市清水町新地1917-58...熊本交通センターから新地団地行きバス「新地団地」下車...外観のみ見学可、駐車不可



**9 熊本市営新地団地B**  
緒方理一郎...共同住宅...92年3月



**10 熊本市営新地団地C**  
富永謙...共同住宅...93年10月



**11 熊本市営新地団地D**  
西岡弘...共同住宅...95年6月



**12 熊本市営新地団地E**  
上田重二...共同住宅...95年6月



**13 県道橋景観整備(基礎調査)**  
倉俣史朗+高木富士川計画事務所...完了



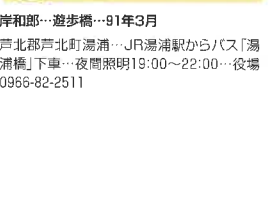
**14 熊本市営託麻団地**  
坂本一成+長谷川逸子+松永安光...共同住宅...94年4月  
熊本市西原3-2...熊本交通センターからバス「託麻団地入口」下車...外観のみ見学可、駐車不可



**15 光のまちづくり(まちづくり模型)**  
岩崎敬+瀬口英徳...構想完了 山鹿市



**16 牛深ハイウェイ大橋**  
レンソ・ピアノ+ビーター・ライス+岡部啓明+マエダ...橋梁...97年8月  
牛深市牛深町...本渡バスセンターから牛深行きバス「牛深港」下車



**17 県営帯山A団地(公開コンペ)**  
新納至門...共同住宅...92年3月  
熊本市帯山1-23...熊本交通センターからバス「上保田窪」下車...外観のみ見学可、駐車不可



**20 清和文楽館**  
石井和雄...文楽劇場・展示館...92年3月  
上益城郡清和村大字大平原152...熊本交通センターから馬見原行きバス「清和文楽館」下車...9:00~16:30...月休...入場420円(常設展)1260円(公演時)...定期公演:第2-4日曜...0967-82-3001



**21 県立芸術古墳館**  
安部忠雄...歴史資料館...92年4月  
鹿本郡鹿本町岩原3085...山鹿歴史センターから車...9:30~17:00...月休...入場410円...0968-38-2151



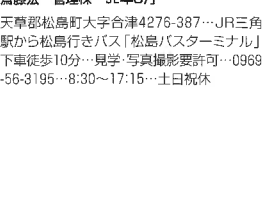
**22 球磨工業高校伝統建築コース加工組立室棟**  
象設計集団...工業高校実習棟...91年3月  
人吉市城本町800...JR人吉駅から徒歩12分...見学、写真撮影は要許可...0966-22-4189



**23 駅の瀬大橋(工事中)**  
大野美代子+中央技術コンサルタンツ...橋梁  
上益城郡矢部町



**24 公園ファニチャーデザイン、同整備マニュアル(構想)**  
沖健次+東京ランドスケープ研究所...完了



**25 松島町合津終末処理場管理棟**  
斎藤宏...管理棟...92年3月  
天草郡松島町大字合津4276-387...JR三角駅から松島行きバス「松島バスターミナル」下車徒歩10分...見学、写真撮影要許可...0969-56-3195...8:30~17:15...土日祝休



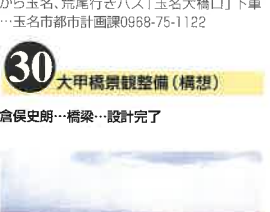
**26 石打ダム管理所**  
青木茂...ダム管理所...91年2月  
宇土郡三角町中村...JR石打ダム駅から徒歩...外観のみ見学可



**27 県営新渡鹿団地**  
小宮山昭...共同住宅...93年3月  
熊本市渡鹿3-854-1...熊本交通センターから戸島(一本木)行きバス「渡鹿7丁目」下車...外観のみ見学可、駐車不可



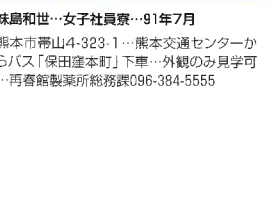
**28 大津町第二庁舎・町民交流施設(構想)**  
鈴木了二...設計完了  
菊池郡大津町



**29 玉名天望館**  
高崎正治...展望・学習コミュニティ室...92年9月  
玉名市大倉山1144...熊本交通センターから玉名、荒尾行きバス「玉名大橋口」下車...玉名市都市計画課0968-75-1122



**30 大甲橋景観整備(構想)**  
倉俣史朗...橋梁...設計完了



**31 草地畜産研究所舎舎**  
トム・ヘネガン+インガ・ダグフィンスドッター+桜樹会・古川建築事務所...畜産研究施設舎舎...92年9月  
阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦...JR阿蘇駅より車...0967-32-1231



**33 県立美術館分館**  
エリアス・トールレス+ホセ・A・M・ラベニャ+大和設計...美術館...92年10月  
熊本市千早城町2-18...9:30~18:30(土・日など17:00まで)...熊本市役所から徒歩5分...月休...096-351-8411



**34 湯前まんが美術館・公民館**  
桂英昭...美術館・公民館...92年11月  
球磨郡湯前町宇上牧原1834-1...くま川鉄道湯前駅下車徒歩9:00~17:00...入場料300円...0966-43-2050



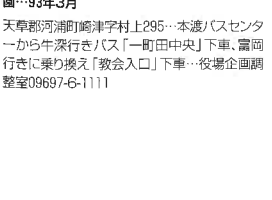
**35 県営竜蛇平団地**  
元倉尚琴...共同住宅...94年2月  
熊本市南山3-1...熊本交通センターから「東水前寺」下車...外観のみ見学可、駐車不可



**36 つなぎ物産ギャラリー**  
北山孝二...物産センター・公園...92年5月  
芦北郡津奈木町岩城1601...JR津奈木駅からバス「竹中」下車...9:00~18:00...第1水休...0966-78-2000



**37 教会の見えるチャペルの鐘屋公園**  
梅田正徳+スペースデザイン設計事務所...公園...93年3月  
天草郡河浦町鐘屋字上295...本渡バスセンターから牛深行きバス「一町田中央」下車、富岡行きに乗り換え「教会入口」下車...夜場企画調製室09697-6-1111



**38 花の温泉館**  
ワークショップ...温泉センター・レストハウス...93年11月  
阿蘇郡山形村大字田尻88-1...JR宮地原駅から徒歩10:00~21:00...第1-3-5火休...入浴500円...0967-26-2341



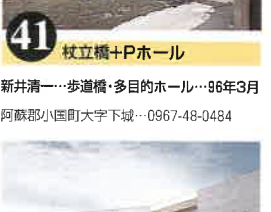
**39 TOTO AQUAPIT ASO**  
木島安史...公衆トイレ...92年3月  
阿蘇郡白川村大字中松古坊3845-19...阿蘇山ロープウェイ阿蘇山西駅前



**40 白川橋景観整備**  
藤江和子...橋梁...92年11月  
熊本市二本木...JR熊本駅より徒歩



**41 杖立橋+Pホール**  
新井清一...歩道橋・多目的ホール...96年3月  
阿蘇郡小国町大字下城...0967-48-0484



**42 石打ダム資料館**  
入江隆一...資料館...93年3月  
宇土郡三角町中村字久保3629-2...JR石打ダム駅から徒歩9:00~17:00...月休...0964-54-1191



**43 天草ビジターセンター・天草展望休憩所**  
古谷誠章+中川建築設計事務所...展示施設・休憩所...94年7月  
天草郡松島町永瀬島...熊本交通センターから産交バス本渡行き「橋入口」下車徒歩9:00~17:00...月休...0969-56-3665



**44 うしぶか海彩館**  
内藤廣...水産観光センター...97年3月  
牛深市牛深町2286...本渡バスセンターから牛深行きバス「牛深」下車...9:00~18:00...第3火休...駐車可...09697-3-3818



**45 不知火文化プラザ(工事中)**  
北川原温+伊藤建築事務所...図書館・美術館・広場  
宇土郡不知火町高良...熊本交通センターから松橋町経由三角行きバス「不知火町役場」下車



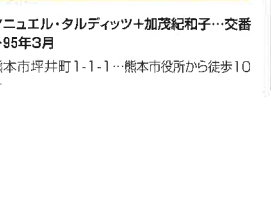
**46 馬見原橋**  
青木淳+中央技術コンサルタンツ...橋梁...95年6月  
阿蘇郡蘇峰町大字馬見原原上地内...駐車可...夜場0967-83-1111



**47 天草工業高校実習棟・体育館**  
室伏次郎+SDA建築設計事務所...工業高校実習棟・体育館...99年2月  
本渡市島崎町...本渡バスセンターからバス「工業高校前」下車...0969-23-2330



**48 熊本北警察署坪井交番**  
マチュエル・タルティツ+加茂紀和子...交番...95年3月  
熊本市坪井町1-1-1...熊本市役所から徒歩10分



**49 ふれあいセンターいすみ**  
武田光史+ロゴス設計同人...観光案内センター・物産館...97年3月  
八代郡東村大字島...交通センターから八代行きバス「盛切」下車徒歩3分...駐車可...9:00~17:00...水休...0965-67-3500



**50 有明フェリー長洲港ターミナル**  
石田敬明...待合所...96年3月  
玉名郡長洲町長洲字下原2168-22...JR長洲港からバス「長洲港」下車...6:00~20:00...0857-78-3358



**51 荒尾警察署長洲交番**  
塚本政利+設計機構ワークス...交番...96年3月  
玉名郡長洲町大字長洲下原2006...JR長洲港からバス「長洲港」下車



**52 県立あしたの青少年の家**  
エリア・ゼンゲリス+エレニー・ジガンテス+鈴木了二+島村建築設計事務所...青少年教育施設...98年6月  
芦北郡芦北町鶴木...JR 佐敷駅より車で20分...総務課0966-82-3092



**53 草千里公衆トイレ**  
塚本由晴+斎藤百穂建築設計事務所...公衆トイレ  
阿蘇郡阿蘇町...98年4月  
JR阿蘇駅からバス「阿蘇火山博物館」下車



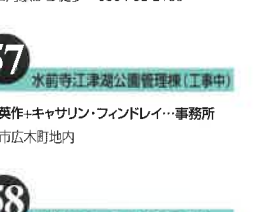
**54 宇土マリーナハウス**  
吉松秀樹...マリーナ・レストラン...98年8月  
宇土市下網田町...JR 宇土駅からバス「平野」下車



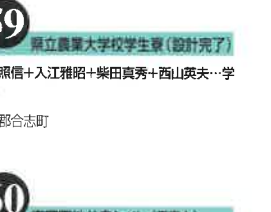
**55 阿蘇・散墨園(公開コンペ)**  
堀正人...公園...98年3月  
阿蘇郡阿蘇町黒川字北家...JR 阿蘇駅からバス「成川」下車徒歩10分「阿蘇町農村公園あびか」内



**56 漁業取締事務所**  
小村健治...事務所...98年2月  
宇土郡三角町大字三角清字首入1160-179...JR三角駅から徒歩...0964-52-2183



**57 水前寺江津湖公園景観整理(工事中)**  
牛田英作+キャサリン・フィンドレイ...事務所  
熊本市広木町地内



**58 鹿北町アートプロジェクト(公開コンペ)(コンペ終了)**  
山田良+小野田綾子...公園  
鹿本郡鹿北町



**59 県立農科大学学生寮(設計完了)**  
藤森照信+入江雅昭+柴田真典+西山英夫...学生寮  
菊池郡志町



**60 富岡町公衆トイレ(工事中)**  
松本健志+A・I・R...公衆トイレ  
天草郡若北町

14

15